

優秀賞・フジテレビ賞Ⅱ下田実来さん《楽園》、優秀賞・ニッポン放送賞Ⅱ桑原志津恵さん《子供の狭間》、優秀賞・産経新聞社賞Ⅱ林信吾さん《捕獲》。

奇しくも、受賞5作品はすべて日本画という結果に。伝統的な技法でありながら、新たな可能性を模索し続けられてきた日本画。受賞5作品を見てもその多様性はより自由さを増しているようだ。その更なる展開に期待するとともに、他の技法の巻き返しにも期待したい。全入選作が一堂に会す展覧会は、左記の日程で開催予定。

■明日をひらく絵画

第39回上野の森美術館大賞展  
会期 4月29日(木・祝)〜5月10日(月)

会期中無休 10時〜17時(入場は閉館の30分前まで)

会場 上野の森美術館

東京都台東区上野公園1-2

電話 03(38833)4191

入場料 一般1600円ほか

ギャラリーためなが  
古都・京都に新店舗オープン

1969年、ヨーロッパの近代・現代巨匠絵画を扱う専門画廊として東



町屋を改築した新店舗、ギャラリーためなが・京都

京・銀座にオープンしたギャラリーためなが(代表取締役社長・爲永清嗣)。2年後の71年にはパリの画廊街マティニヨン大通りにも画廊を構えるなど、グローバルな展開から名だたる優品紹介に力を注ぎ今日に至っている。そんな同画廊がパリ店開廊から半世紀を経た今日、日本の歴史的芸術都市・京都にギャラリーためなが・京都を開廊、日本美術の新たな発信拠点としての活動をスタートした。

新スペースは、京都国立博物館、三十三間堂やハイアットリージェンシーに程近い七条の鴨川のとおり、京都駅からも車で僅か数分という好立地。町屋を改築したという店舗は、都心では望めない広大な空間を有し、

ギャラリーためながの代表的作家である智内兄助や菅原健彦をはじめ、これからの活躍が期待される気鋭の日本人画家の紹介を中心に据える。

印象派、エコール・ド・パリ、フランス現代画壇の代表的作家などをいち早く扱い、日本のアートシーンに新風を送り込み続けてきたギャラリーためなが。今回の京都店オープンについて爲永社長は次のように語る。

「フランスを中心としたヨーロッパの作家達を国内外で紹介してまいりましたが、京都では日本の才能溢れる現代作家達を核として考えていま

す。辛丑(かのとうし)に相応しく、コロナ禍の中新しい挑戦の第一歩を踏み出すのも良き巡り合わせと捉えて、日本文化史の中心である京都に於いて、百年、千年後にも残るべく芸術作品をご覧いただければと思っております」

新店舗は3月23日オープン。東京、大阪に続く新たな活動拠点を内外から注目が集まる。

■ギャラリーためなが 京都  
京都市東山区鞆町通正面下る上堀詰町265-7

営業時間 11時〜19時  
電話 075(532)3001

…風景・花・静物を描く…

〈没後22年〉尾内健治 作品展  
会期=5月12日(水)〜17日(月)〈会期中無休〉



尾内健治 パリのレストラン F12号

石松子明個展「絵本を作ったよ展」  
会期=5月20日(木)〜5月25日(火)〈会期中無休〉

〈AM11:00〜PM6:00 ※最終日PM5:00閉廊〉

池袋 栗原画廊

〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-33-24 アポロマンション3階  
TEL 03-3982-6044 FAX 03-3982-1690  
[ギャラリー] 東京都豊島区西池袋3-19-5 寿マンション1階  
URL <http://www.kurihara-art.com> e-mail: tokyou@kurihara-art.com